

インシデント・アクシデントの分類基準 (別紙1)

患者への影響レベル基準

分類	患者への影響度	内 容	
インシデント	レベル0	間違ったことが患者に実施される前に気づいた場合 エラーや医薬品・医療機器の不具合が見られたが患者には影響がなかった場合。	
	レベル1	間違ったことが実施されたが、患者には変化がなかった場合。患者への実害はなかったが、何らかの影響を与えた可能性は否定できない場合。	
	レベル2	処置や治療は行わなかったが、患者の観察の強化バイタルサインの軽度変化、安全確認のために検査等の必要性が生じた場合。	
アクシデント	レベル3	a	事故のため一時的な治療が必要となった場合。 簡単な処置や治療を必要とし、消毒・湿布・皮膚の縫合・鎮痛剤の投与などの必要性が生じた場合。
		b	事故のために継続的な治療が必要となった場合。 観血的ないし侵襲的検査や治療を必要とし、バイタルサインの高度変化、人工呼吸器の装着、手術、入院日数の延長、外来患者の入院などが生じた場合。
	レベル4	a	事故により長期にわたり治療が続く場合。 有意な機能障害や美容上の問題は伴わない場合。
		b	事故により機能障害が永続的に残った場合。
	レベル5	事故が死因となった場合	
	その他	自殺企図や暴力、クレームなど	

これは患者に対する影響度での分類であり、これ以外に、「ヒヤリ」とした、もしくは「ハット」したことがあれば報告をしてください。

尚、レベル3b以上のアクシデントにつきましては、別途報告体制のフローを確認し、速やかに報告をお願いします。